



異物混入について～原材料由来編～

異物とは、人に悪影響を及ぼしうるガラスおよび金属等ではありますが、一般に異物検査は、生産、貯蔵、流通、販売の過程で、不適切な取り扱いに伴って食品中に混入または侵入したあらゆる有形外来物を対象としています。

異物には、危険物（金属片、ガラス片等）や危険ではないが有害物（毛髪、ビニール片等）などの混入物以外に、原材料に由来するもの、製造・加工過程で生成または残存したもの、食器に付着したものなど、人に不快感を与えるものがあります。

（厚生労働省監修「食品衛生検査指針(理化学編)2015」参照）

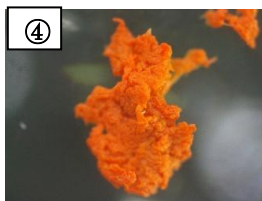
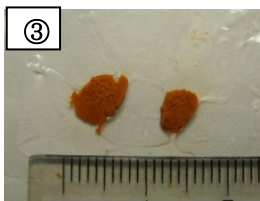
当センターが市町教育委員会、学校、共同調理場等からの依頼を受けて実施している異物検査においても、検査の結果、原材料由来の異物であると考えられる事例が少なくありません。肉の骨片や米のぬかを初めとして、原材料由来であると推定されれば、学校関係者の不安が軽減されるだけでなく、混入経路が明確になり再発防止対策に役立てることができます。

以下に異物の事例について①混入していた献立②主な食材③外観写真④顕微鏡写真⑤検査結果（下段に表示）を示します。

<事例1>

①わかめスープ

②カットわかめ、人参、玉ねぎ、カーネルコーン



<事例2>

①具だくさんみそ汁

②大根、油揚げ、さつまいも、しめじ、人参



<事例3>

①五目ごはんの具

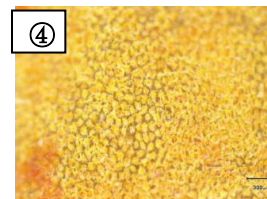
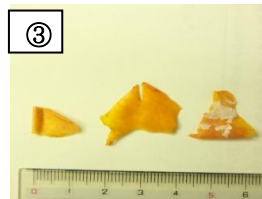
②鶏肉、竹輪、油揚げ、人参、ごぼう



<事例4>

①炊き出しカレー

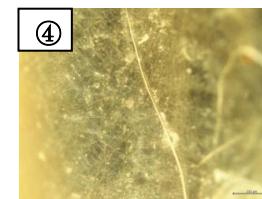
②玉ねぎ、じゃが芋、人参、トマトカット



<事例5>

①焼きビーフン

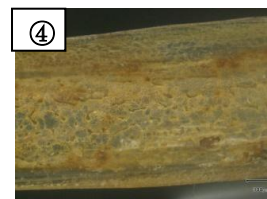
②ビーフン、ぶた肉、えび、玉ねぎ、キャベツ
人参、にら、干ししいたけ



<事例4>

①小松菜とキャベツのおひたし

②小松菜、キャベツ、カツオ削り節



⑤検査結果 1 人参の灰汁（あく）、2 しめじの石づき、3 人参の木化※
4 トマトの皮、5 エビの殻、6 カツオの骨片

※植物組織の細胞壁が硬く木のようなことになること。